

# 団体トップに聞く

## 年間需要、上方修正へ

### 環境対応策でWGを新設

本年三月、プリチストンフロッテック(株)の野田明志社長が日本ホース金具工業会会長に就任した。〇六年上期のゴム・樹脂ホースアセンブリ実績は、全体で三百七十一億一千二百万円、前年同期比一〇・八%と一割近い伸びとなり、年間需要は同工業会の当初予測から上方修正されることが確実な状況となっている。上期の工業会活動や下期の需要見通し、さらに業界が抱える課題等について野田会長に話を聞いた。



日本ホース金具工業会 野田明志会長

「まず最初に、本年上期は八十七億円で同一〇一%、樹脂ホースアセンブリは三十九億円で同一二%、付属金具販売額は二十八億円で同一三%となり、トータルでは三百七十二億円で同一〇・八%となった。工業会による当初の予想は三百六十九億円で、これは予測通りとなった。日本建設機械工業会、工作機械工業会、フルドパワ―工業会も、一〜六月実績が非常に好調であるので、年間需要予測を上方修正されると思われる。当工業会も八月下旬に見直しを行い、年間需要は若干上方修正となることを予測される。産業用については、ホースアセンブリ、継手単体販売ともに内外需が好調に推移した。ホース単体販売は国内は九八%、若干前年実績より減少している。二つ目は油圧ホースアセンブリ分野で権威ある団体との交流やISO国際会議への積極参加などを行っている。また、環境問題では六価クロム問題があり、対策ワーキングチームをこの上期に立ち上げた。そして三つ目は会員各社に役に立つ工業会である。市場調査委員会の需要予

測の精度の向上、さらにホームページや会報の一層の充実を図っていく。ISO規格の制定は関連工業会と共同で積極推進されてきた。野田会長 昨年十一月開催のISO TC131京都会議には当工業会から四名の会員を派遣した。こうした中で、日本が提案してきた圧力ベア―ス液圧用ホース(油圧ゴムホース)規格が七月十五日付けで正式に「ISO18752」規格として発効した。従来規格は構造ベア―スだが、圧力ベア―スとして国際的に通用することになったもので、日本メーカーにとって、グローバルな事業展開が一層加速するものと期待される。今後は新規格の普及を願うが「ISO18752」規格に準拠するJIS規格の制定も必要。また、建設機械メーカーへの啓蒙、普及活動に注力していく。

野田会長 六価クロム問題への対策として、本年上期に対策ワーキングチームを立ち上げた。他材料への変更を促し、技術的課題の検討を行い、工業会としてガイドラインを早急にまとめ、地球環境保全に貢献していきたい。アセンブリ認定委員会の現状は、野田会長 アセンブリ認定制度の組織としては、ホースアセンブリ自主認定会があり、これは北海道支部、東北・関東支部、中部支部、近畿・四国支部、中国・九州支部の五つの支部会で構成される。また、アセンブリ認定制度委員会及びアセンブリ認定判定委員会において認定メーカーとして適切な判定等を行っている。認定メーカーは昨年末で九十五社であるが、この上期に五社増え、下期は既に社増となっている。私見だが百二十社くらいまでには伸ばしたいと考えている。

# 石垣守氏(石垣ゴム)が写真集を出版

## 写真展も行う

### アジア・アフリカの人々を活写

【関西】工業用ゴム製品製造業である石垣ゴム工業(大阪市平野区)の取締役会長、石垣守氏(八十二才)は趣味の写真が昂じてプロ作家並みの腕前。全日本写真展、国際写真サロン、二科展などで入賞歴の持ち主。アフリカ、アジアの辺境地域に息づく独特の伝統文化と人々を対象に、ニューギニア、ネパール、ミャンマー、エチオピアなどへ年間七〜八回ほど撮影の旅をして、六十五歳から八十歳までの十五年間合計で約九十回にわたる撮影行脚を行った。このほど八月十一日から十八日まで写真作家の野田和嘉氏をはじめ、数人の発起人により北区梅田にあるハ―ビスホール小ホールで石垣守写真展「大地に生きる」を開催、また当日六時から「ザ・リッピン・カールトン大阪」の刊行を祝う出版パーティーを開催した。



写真展「大地に生きる」 石垣守氏

「大地に生きる」は、氏が一九九五年に出版した「ビバ・アマリカ」以来、「シンジ(ニューギニア)」「タールの女(ネパール)」「仏の弟子(ミャンマー)」と続く四冊の写真集から選んだ代表作に最新作の「エチオピア」を加えた集大成作品で、約百五十点で構成された写真集となっている。タテ・ヨコ各二辺二七cm四方版でオールカラー刷り、一九〇ページの傑作集である。

# ペット用マナー手袋をPR

## TV大阪でCM放映

宇都宮製作 【関西】工業用ゴム製品、医療用製品などの販売商社、宇都宮製作(株)大西健路社長(東大阪市)は、社名の認知度アップを図ると共に、取り扱った商品の中のペット愛好家向け手袋の新製品PRとしてテレビコマ―シャルを開始した。テレビ大阪で毎週木曜日の午前十時五分〜十一時の時間帯で十分お名人シリーズの製品として放映。七月から開始され、今年十二月までの予定。CM商品はマナー手袋(小型犬・中型犬用)「くるりんぽい」。犬の散歩や室内の処理に使いやすい手袋。手の型をしているので便利でカンタ



ポップアップ方式 100枚入り

さんぽマナーの決め「手」、くるりんぽい。お同社ホームページにアクセスすれば、CM内容を見ることが出来る。▽ホームページアドレス http://www.u-seisaku.co.jp/

# 「下水道展」初出展も好評

## 止水栓開発

【関西】六菱ゴム(株)大阪本部(大阪市北区堂島)は大正一一年創業のゴム工業用品製造のバイオニア。製鉄、造船、原子力、産業機械、軌道の各分野のニーズに合わせ、自社設計品、共同開発品を提供している。さらに、阪神淡路大震災以降、土木地下分野におけるシールド工法に

# 増収減益に

## 自動車・住設など好調

藤倉ゴム工業の〇七年三半期第一四半期連結決算は、売上高六十九億九千九百万円、前年同期比三・一%増、営業利益七億三百万円、同四・五%増、経常利益七億二千八百八十九万九千九百九十九円、同二・八%増の増収となった。四半期純利益は五億六千万九百九十九円、営業利益は一億六千八百八十九万九千九百九十九円、営業利益一億三千三百九十九万九千九百九十九円。お詫び 本紙八月二十一日付け号六面掲載の藤倉ゴム工業の第一四半期連結決算記事の内容が間違っており、誠に申し訳ございません。訂正し、お詫び申し上げます。

# 第28回野球大会が開幕

東部ゴム商組 一ムが参加して午前八時十五分より開会式が行われ、昨年度優勝の浦田ゴム(株)が優勝旗を返還し、小和田武宏主将が選手宣誓を行った。上田理事長は「伝統ある大会であり、親睦を基本としつつも熱

**作台数1300台**

はゴム加硫プレスのトップメーカーです。(トン~5000トン)

**200\$ 1500cc**

**テスト機**

- 200\$真空プレス4本柱式、金型3面分解式
- 100\$真空プレスサイドプレート型、金型3面分解式
- 袖百市内(明石鉄工団地)に設置

**縦型射出成型機**